平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	経営学入門 (Guide to Business Administration) 【工藤クラス】			授業コード	E012103
担当教員名	工藤　順一			科目ナンバリングコード	E10102
配当学年	1	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	コンビニやドラッグストアに行くときに、お客様として買い物に行くのもよいのですが、経営者になったつもりで行くと、見方が一変します。店員さんの対応や陳列の仕方、営業時間や広告の仕方等すべてが勉強になります。この授業では、あなたがいろいろな立場になって考えると、授業が面白くなりますよ。				
受講心得	経営はいたるところに存在します。自分自身の経営、家族の経営、そして、会社の経営です。音楽の指揮者や、歴史小説家、心理学者、いろいろな立場から、自分だったらどうするかをいつも考えて受講してください。				
教科書	レジュメを配布します。				
参考文献及び指定図書	「経営学」公務員テキスト13」TAC出版、「テキスト経営学(増補版)」井原久光著　ミネルヴァ書房 「阿川佐和子の世界一受けたい授業」阿川佐和子著　文芸春秋社				
関連科目	経済学、経営学総論、監査論等の各科目				

授業の目的	「経営とは、何を経営するのか、そもそも経営とは何か」、「経営でいう人とは何か、カネはなぜひつようなのか」等、基本的なことを考えながら、経営の基本的なことから学んでいきましょう。
授業の概要	この授業では、いりろな分野で活躍している人の考え方を見ながら、どうやって自分をコントロールし、組織をマネージしているかを見ていきます。そのためのテキストとして、佐川佐和子の世界一受けたい授業を取り上げました。読みながら、一緒に世界一受けたい授業にしていきましょう。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 経営学とその位置づけ 普段は、漠然としか捉えていない経営学について、その研究対象や研究領域を明らかにし、経営学の位置づけを探ります。また、われわれの生活と企業との関わりを改めて認識する学習をします。	復習として、約30分程度経営に関する新聞記事等に目を通しましょう。
第 2 週 ： 指揮者にみる指揮の仕方 企業には代表取締役がいます。いわゆる社長です。社長の役目とは何でしょうか？リーダーの役目とは？今回は指揮者の小澤征爾さんによる指揮者の果たすべき役割を考えます。小澤征爾さんの師匠である斎藤秀雄先生は、「・とことん教え込むのは、そのバリエーションのニュアンスを50人いたら、その中で一番ダメなやつにまで分からせるため。」と言っています。	復習として、オーケストラに関する番組に目を通してみましょう。
第 3 週 ： 歴史に見る経営学 テーラーの科学的管理法は、19世紀末の産業化の急速な進展のもとで、企業規模の拡大と組織の複雑化の中から生まれた体系的な管理論です。一方、塩野七生(ローマ史)「私は常に一人の読者に向かって書いています。それが何万人になろうと。」「どうして原書を読むかというと、書いた人の声を聞くため」とも言っています。歴史を遡って、見てみましょう。	復習として、科学的管理に関する本に目を通しましょう。
第 4 週 ： 行動科学的モチベーション 人は、何によって動くのか？どうすれば人は動くのか？動いて良い意思決定が出来るのか？人間の持つ不合理性について、マズローの欲求5段階説とダンアリエリー氏の「行動経済学」から見てみよう。	復習として、動機付けに関する新聞等に目を通しましょう。
第 5 週 ： 心理学から見た人の行動	

心理学者の河合隼雄によると「社会が豊かになるほど、悩みも豊かになる。戦争中なんて、みんな生きるのに精一杯。ノイローゼ、自殺はほとんどない。でも今は、無気力でも食っていける。人を分析するんだったら、自分自身が分析されないといけない。だから、訓練の基本は私の分析にある」という。今日は、ヒトについて考えていきましょう。	復習として、ノイローゼに関する新聞等に目を通しましょう。
第 6 週 ： お金と 感情と 意思決定(1) 私たちの「感情」は非常に不可解な存在である。.人が働くのはお金のためだというのは本当だろうか？報酬の与え方を間違えると人は逆に働かなくなることも分かっている。となると、消費者は何によって購入を決めるのか？そのような人の意思決定について学習します。	復習として、お金とは何かに関する新聞等に目を通しましょう。
第 7 週 ： お金と 感情と 意思決定(2) 私たちの「感情」は非常に不可解な存在である。「感情」が合理的な判断をじゃまするという特徴もある。人々の感情をコントロールしているいくつかの事例を見ながら、いかにして消費者は商品を購入するかを考えてみよう。	復習として、消費行動に関する新聞等に目を通しましょう。
第 8 週 ： 宇宙に見る新しい市場の可能性 人を取り巻く宇宙について、どうすれば人は宇宙にいけるのか？動いて良い意思決定が出来るのか？人間の持つ不合理性について、地球を離れて宇宙の視点からから見てみよう。	復習として、宇宙旅行に関する新聞等に目を通しましょう。
第 9 週 ： リカルド・セムラーの経営組織 ・組織階層がなく、公式の組織図が存在しない。ビジネスプランも、短期・長期計画もない。ミッションステートメントがない。決まったCEOが不在であることもよくある。CIOやCOOもいない。人事部がない。経費を承認する人はいない。しかも利益は上がり、離職率が非常に低い。そんな海外の会社を学習します。	復習として、祖S期の在り方にに関する新聞等に目を通しましょう。
第10週： 環境と人間について 解剖学者の養老孟司によると「少なくても日本は、せいぜい世界の60分の1でいいだろうって 僕はいつも言ってる。日本の人口がだいたい世界の60分の1なんだから、何でも60分の1でいいんです。収入も、支出も。先進国だ経済大国だなんて威張ってるのが変なんだ、そもそも」という。企業の環境への向き合い方を考えてみましょう。	復習として、環境問題に関する新聞等に目を通しましょう。
第11週： これからの建築に求められるもの 人々の生活の中で建築は、衣食住の住に属する。それだけに、建築業界の市場規模も大きい。、その建築について、建築家の安藤忠雄さんのこれまでの歴史たどりながら、人々の建築にかける思いや期待、建築家の果たす役割を考えてみましょう。	復習として、建築に関する新聞等に目を通しましょう。
第12週： 歌舞伎について 歌舞伎役者の市川海老蔵さんに、現在の歌舞伎のありかた、役者としての葛藤と疑問等を聴きます。歌舞伎は日本の文化であり、日本の歴史も表しています。また、歌舞伎の講演には、細かい役割分担で行われています。そうした歌舞伎の裏側を見てみましょう。	復習として、歌舞伎に関する新聞等に目を通しましょう。
第13週： リーダーシップと変革 リーダーシップを発揮して問題に向かうときに、無視してならないのは、それまで培われてきた伝統や文化的背景だ。伝統や文化は変革を嫌う。組織が複雑に大きくなればなるほど、すでにあるものを守ろうとするため、変化を嫌う。	復習として、リーダーに関する新聞等に目を通しましょう。
第14週： トランプ大統領に見るリーダーシップ なぜ、リーダーシップの多くが失敗するのか？対処すべき問題の内容は2種類に分けられる。解決策がすでにある「技術的な問題」と、まだ誰も解決策を知らない「適応が必要な問題」。すべての問題はこの組合せだ。「適応が必要な問題」は人々の文化や慣習に深く根ざしており、人々そのものがその問題の一部なのだ。トランプ大統領を見ながらリーダーシップを考えてみよう。	復習として、トランプ大統領に関する新聞等に目を通しましょう。
第15週： 日本的経営論 「終身雇用、年功序列、企業別組合」等の日本的経営スタイルを学ぶとともに、それがアメリカの企業のものとどう違うのか、日本的経営のメリットとデメリットは何かについて学習します。台湾の李登輝さんによる日本人観も見てみましょう。	復習として、日本経済に関する記事の新聞等に目を通しましょう。
第16週： 期末試験	

第1回から第15回までの授業について試験を行います。単なる知識を問うものではありません。あなた自身が、意欲関心をもって自分の言葉で書いてみてください。		試験問題の回答を配布しますので、自宅で復習しましょう。
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	あなた自身が経営者になったつもりで取り組んでください。また新聞に載っているいろいろな記事に興味を持って、まずその記事を理解するように努めましょう。
【知識・理解】	経営学の基礎知識については、覚えるところもありますが、できるだけ理解するようにしましょう。他の学生に説明するつもりで勉強されるとよく理解できるでしょう。
【技能・表現・コミュニケーション】	授業の中で、DVDを使って講義することがあります。このビデオを見ながら、もしくは見た後でレポートを提出していただきます。皆さんの考えを、レポートの中に表現してください。
【思考・判断・創造】	どのような問題に対しても、「なぜ？」と考えてみてください。それも何度も、なぜ、なぜというように突き詰めていきましょう。そうすることで、判断の仕方や創造の仕方も学べるでしょう。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点	10点	10点	
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	10点			
【技能・表現・コミュニケーション】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	10点	10点	
【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。	10点	10点	10点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	原則として、毎回講義の初めにテーマを設定します。そのテーマに沿ったレポートの提出をもって出席に代えますので、遅刻せずに課題を解いて提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。Sレベル:達成目標を満たしている。Aレベル：ほぼ満たしている。Bレベル：なんとか満たしている。Cレベル：一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	授業の中で適宜質問します。質問に対する解答については、成績評価において加点することがあります。